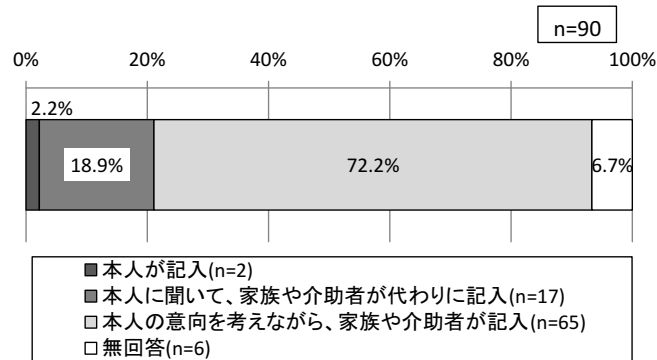


調査結果 V. 施設入所者

問1 この用紙(調査票)に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

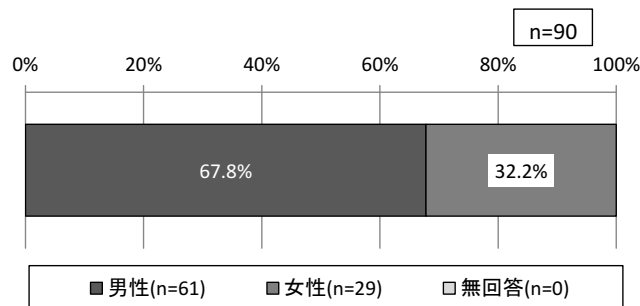
記入者については、「本人が記入」が2.2%、「本人に聞いて、家族や介助者が代わりに記入」が18.9%、「本人の意向を考えながら、家族や介助者が記入」が72.2%、となっています。



《あなた(宛名の方)の性別・年齢などについて》

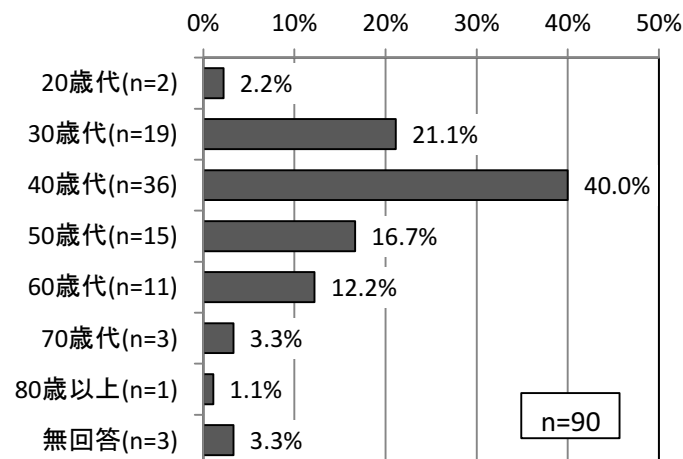
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が67.8%、「女性」が32.2%となっています。



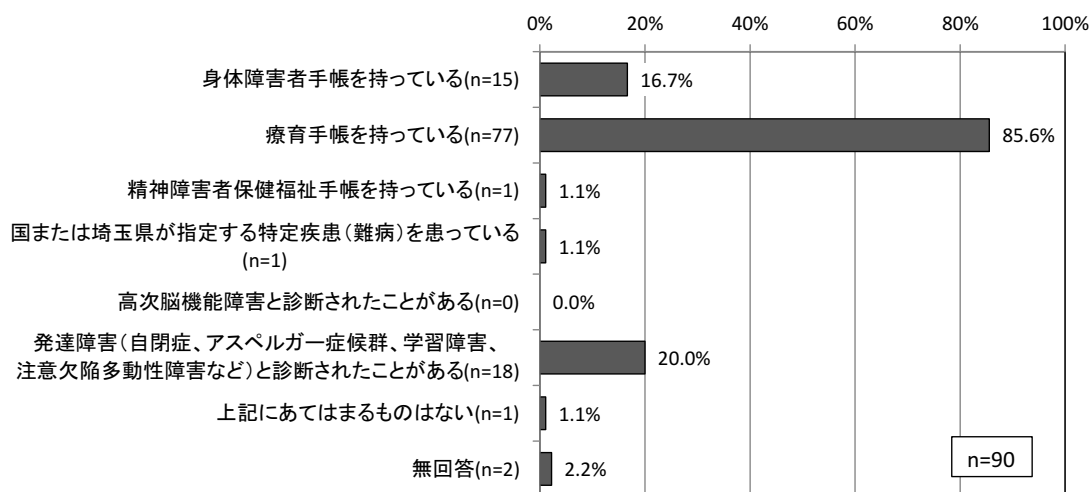
問3 あなたの年齢(9月1日現在)を記入してください。

年齢については、「40歳代」が40.0%と最も高く、次いで「30歳代」が21.1%、「50歳代」が16.7%となっています。



問4 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

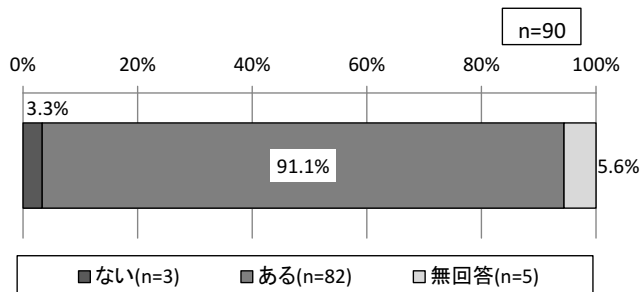
「療育手帳を持っている」が85.6%と最も高くなっており、次いで、「発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害など）と診断されたことがある」が20.0%、「身体障害者手帳を持っている」が16.7%となっています。



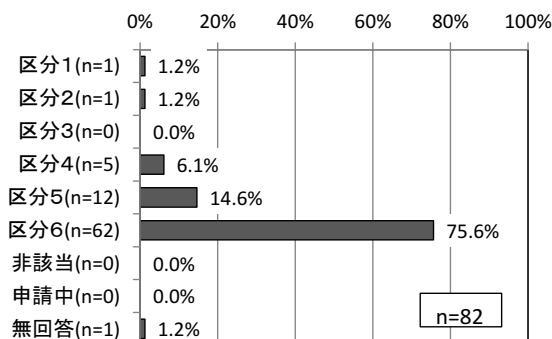
問5 障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分(6段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」人は、91.1%となっています。

区分としては、「区分6」が75.6%、「区分5」が14.6%、「区分4」が6.1%件、「区分1」「区分2」がそれぞれ1.2%となっています。

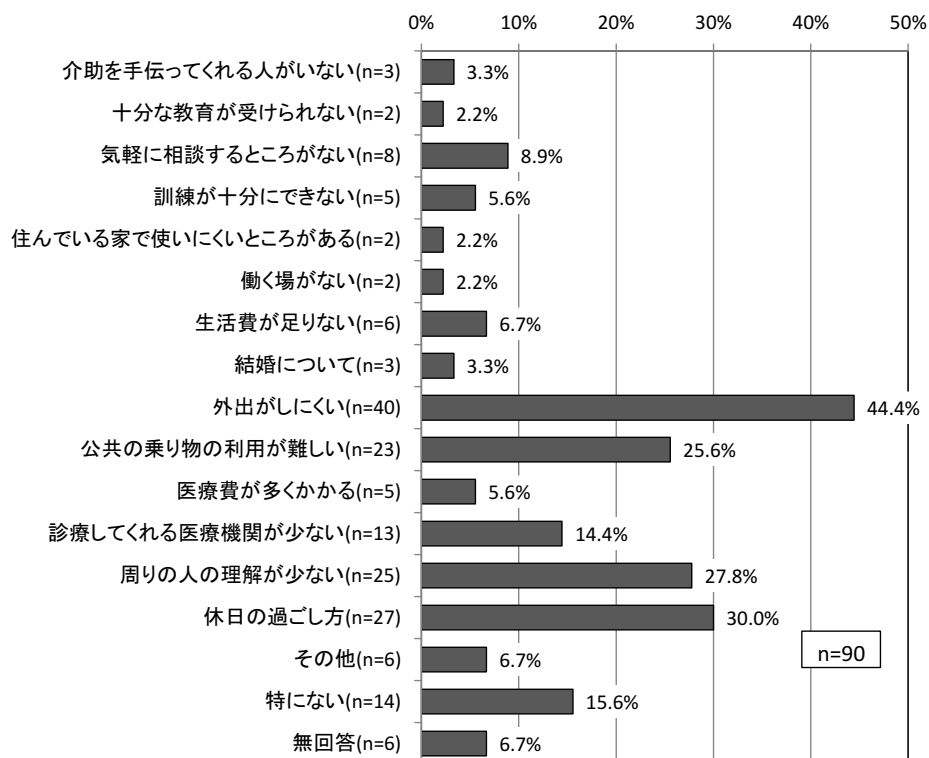


【障害支援区分内訳】



問6 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(○はいくつでも)

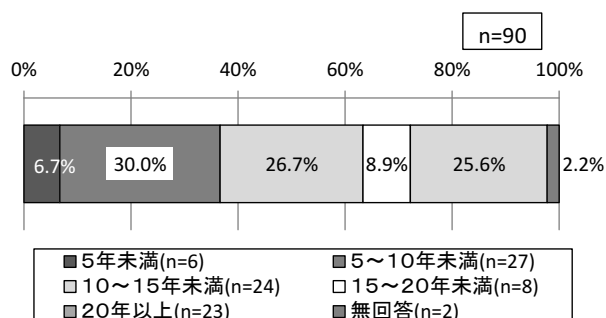
現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「外出がしにくい」が44.4%と最も高く、次いで「休日の過ごし方」が30.0%、「周りの人の理解が少ない」が27.8%となっています。



《 介 助 ・ 援 助 の 状 況 に つ い て 》

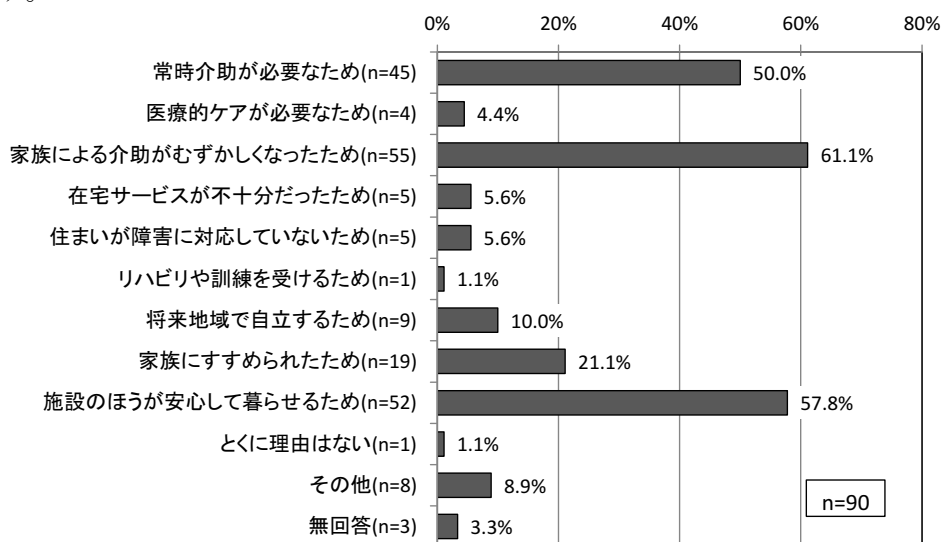
問7 現在の施設に入所してからの期間をお答えください。(○は1つ)

現在の施設の入所期間については、「5～10年未満」が30%と最も高く、次いで「10～15年未満」が26.7%、「20年以上」が25.6%となっています。



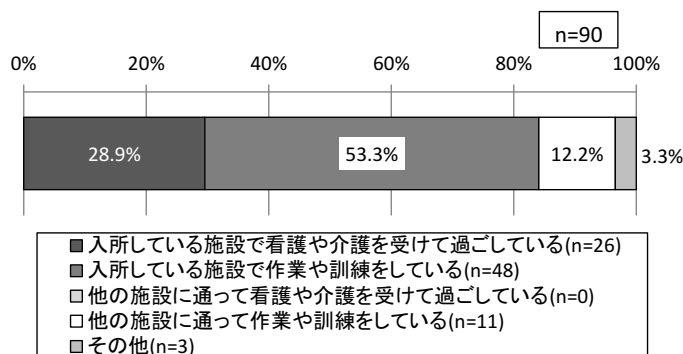
問8 現在の施設へ入所することを決めた理由はなんですか。(○はいくつでも)

現在の施設の入所理由については、「家族による介助がむずかしくなったため」が61.1%と最も高く、次いで「施設のほうで安心して暮らせるため」が57.8%、「常時介助が必要なため」が50.0%となっています。



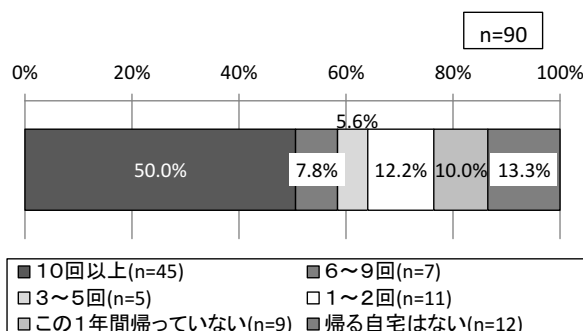
問9 あなたはふだん、主に日中をどのように過ごしていますか。(○は1つ)

日中の過ごし方については、「入所している施設で作業や訓練をしている」が53.3%と最も高く、次いで「入所している施設で看護や介護を受けて過ごしている」が28.9%、「他の施設に通って作業や訓練をしている」が12.2%となっています。



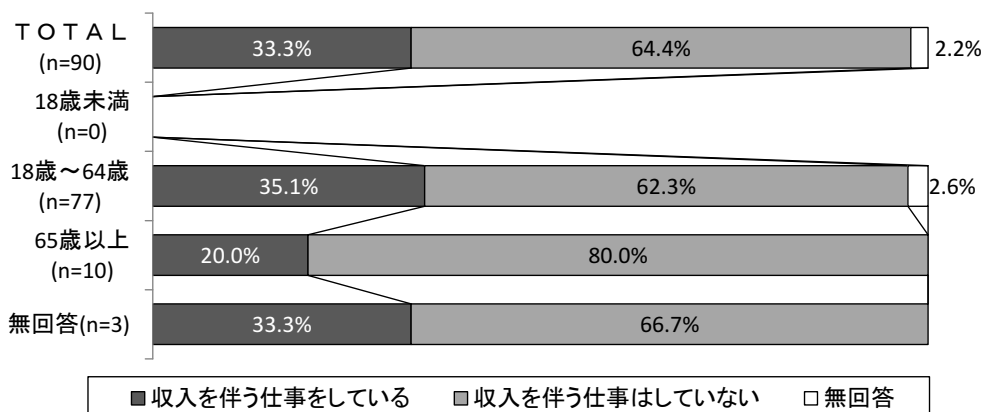
問10 最近1年間、どのくらいご自宅に帰りましたか。(○は1つ)

直近1年間の帰宅頻度については、「10回以上」が50.0%と最も高く、全体の半数が年10回以上の帰宅となっています。



問11 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

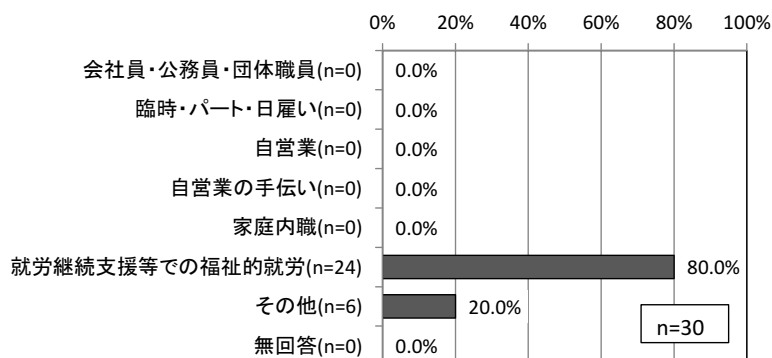
現在「収入を伴う仕事をしている」方は、33.3%となっています。



[収入を伴う仕事をしている人におききします]

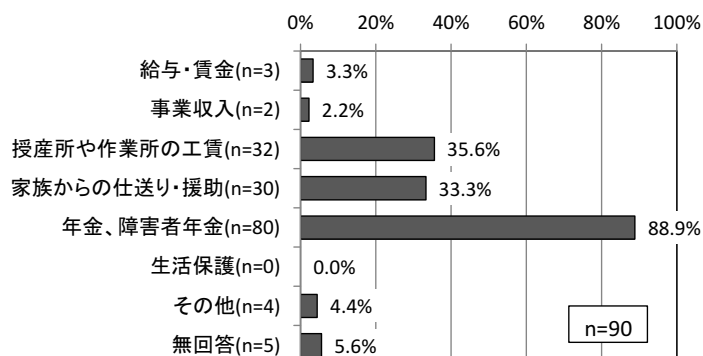
問12 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「就労継続支援等での福祉的就労」が80.0%と最も高くなっています。



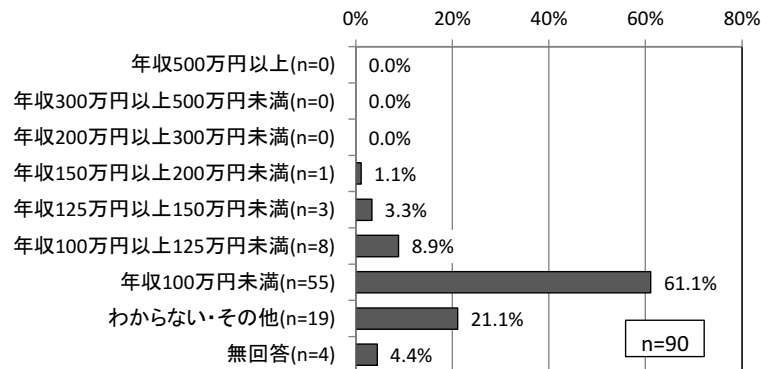
問13 現在、あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

生活を支えている収入については、「年金、障害者年金」が88.9%と最も高く、次いで「授産所や作業所の工賃」が35.6%、「家族からの仕送り・援助」が33.3%となっています。



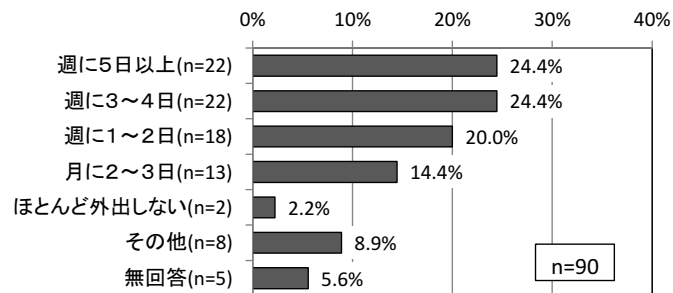
問14 あなたの昨年一年間の収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

昨年一年間の収入の額については、「年収100万円未満」が61.1%と最も高くなっています。また、「わからない・その他」が21.1%となっています。



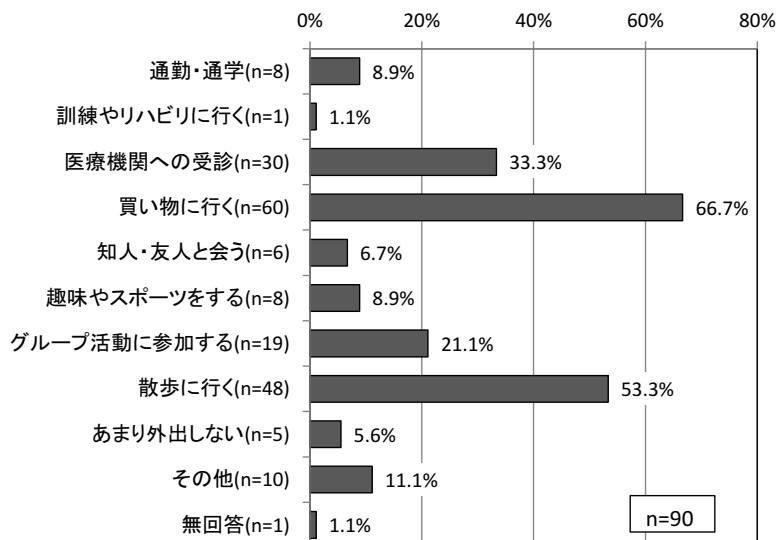
問15 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、通所、通院、買い物、日常の散歩等すべて含めてお答えください。(○は1つ)

外出の頻度については、「週5日以上」「週3～4日」が最も高く、それぞれ24.4%となっています。また、「ほとんど外出しない」は2.2%となっています。



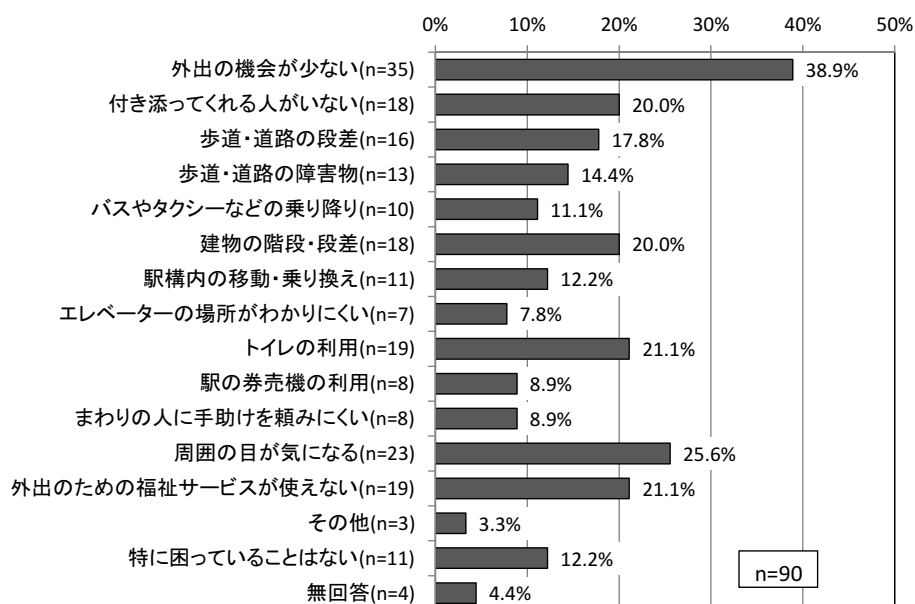
問16 どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

外出の目的については、「買い物に行く」が66.7%と最も高く、次いで「散歩に行く」が53.3%、「医療機関への受診」が33.3%となっています。



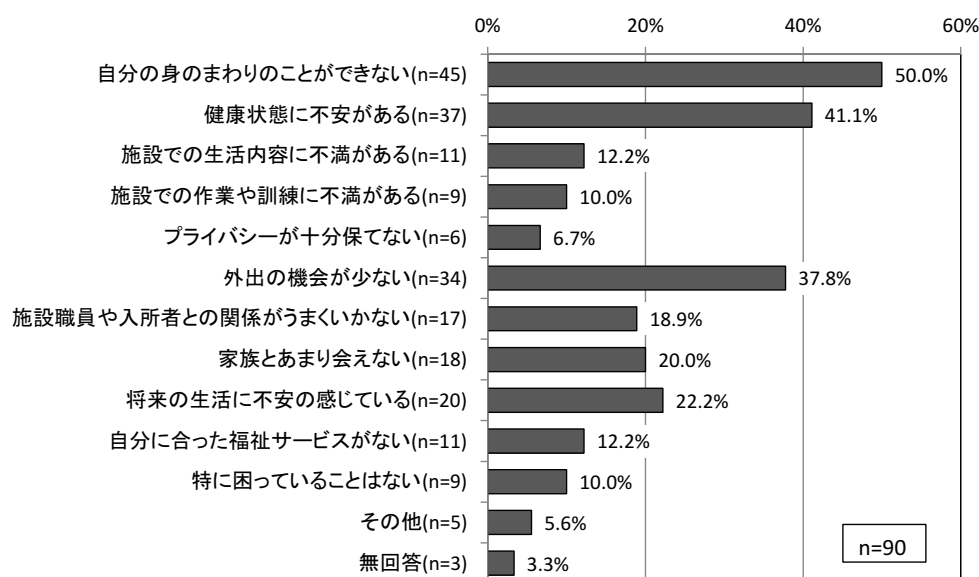
問17 外出の際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

外出の際に困っていることについては、「外出の機会が少ない」が38.9%と最も高く、次いで、「周囲の目が気になる」が25.6%、「トイレの利用」、「外出のための福祉サービスが使えない」がともに21.1%となっています。



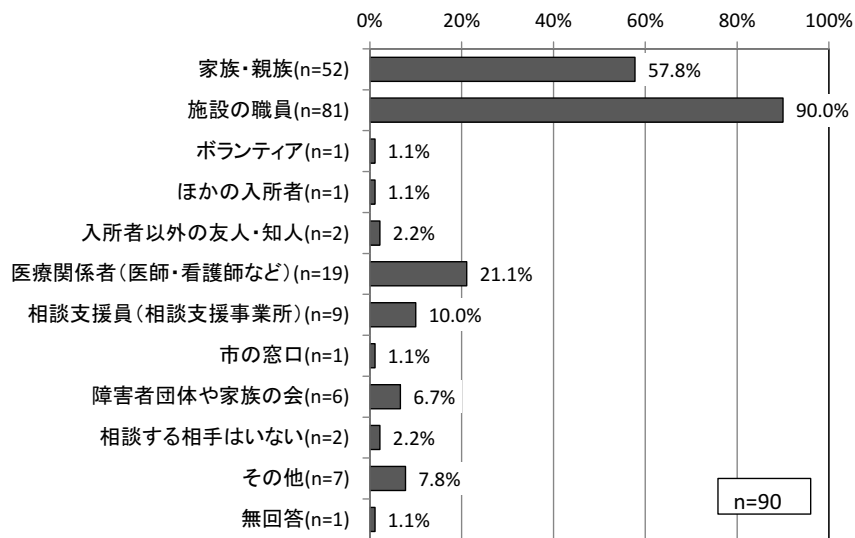
問18 日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

日常生活で困っていることについては、「自分の身のまわりのことができない」が50.0%と最も高く、次いで、「健康状態に不安がある」が41.1%、「外出の機会が少ない」が37.8%となっています。



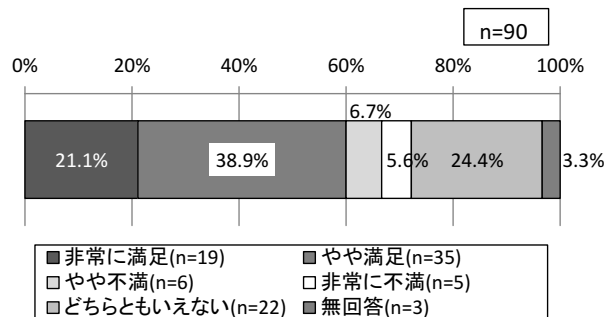
問19 あなたが困ったときに相談する相手はだれですか。(○はいくつでも)

悩みや困ったことなどの相談先については、「施設の職員」が90.0%と最も高く、次いで、「家族・親族」が57.8%、医療関係者（医師・看護師など）が21.1%となっています。



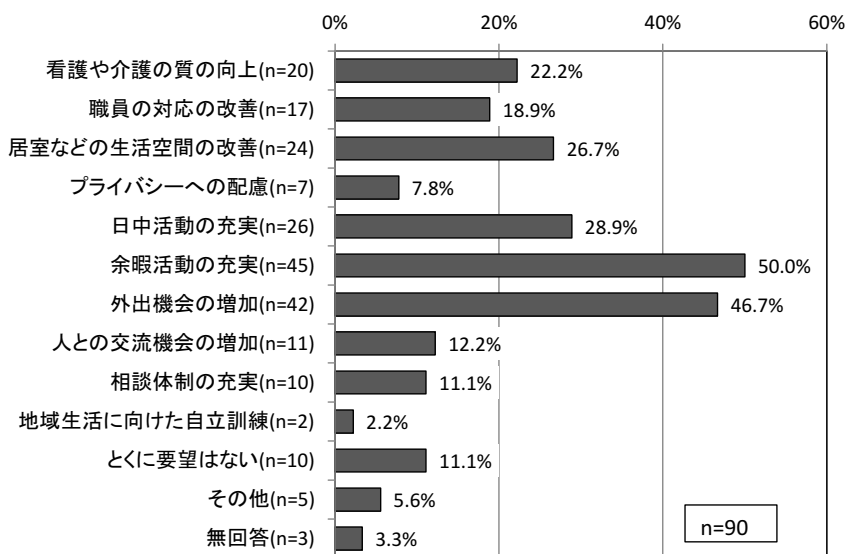
問20 現在入所している施設の生活に満足していますか。(○は1つ)

現在入所中の施設の満足度については、「満足している (満足している+少し満足している)」が60.0%となっています。また、「満足していない (あまり満足していない+満足していない)」は12.3%となっています。



問21 入所している施設に対してどのような要望がありますか。(○はいくつでも)

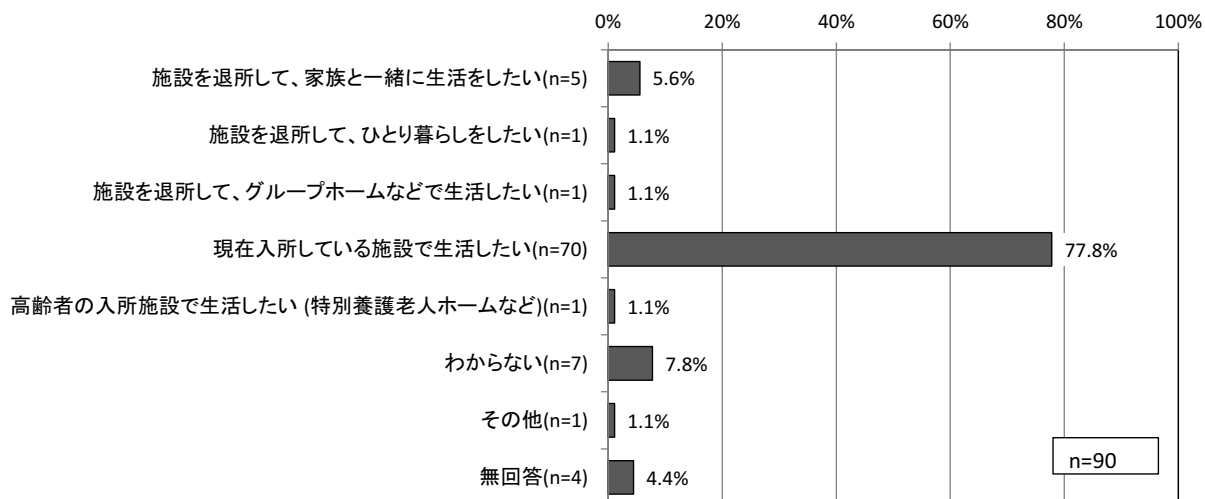
現在入所中の施設への要望については、「余暇活動の充実」が50.0%と最も高く、次いで、「外出機会の増加」が46.7%、「日中活動の充実」が28.9%となっています。



《 将 来 に つ い て 》

問22 あなたは将来、あなたはどのような生活をしたいと思いますか。(○は1つ)

将来については、「現在入所している施設で生活したい」が77.8%と最も高く、8割近くの回答があります。



[退所を^{たいしょ}したいと思わ^{おも}れている方^{かた}におききます]

問23 施設を退所したい理由はなんですか。(○はいくつでも)

施設の退所希望理由については、「家族のそばにいたいから」が5件、「ひとり暮らしをしてみたいから」「自由な生活がしたいから」「社会的に自立したいから」がそれぞれ1件となっています。

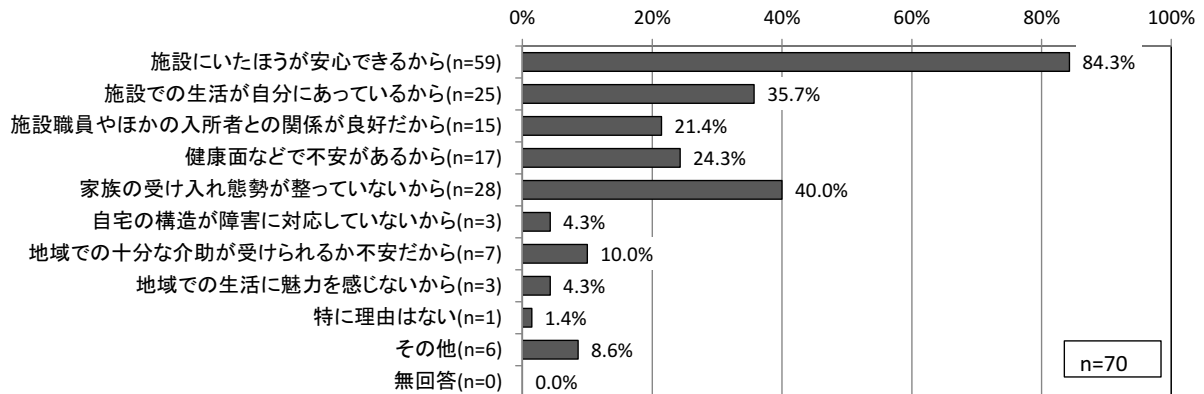
理由	件数
家族のそばにいたいから	5
ひとり暮らしをしてみたいから	1
自由な生活がしたいから	1
社会的に自立したいから	1
施設を出てやりたいことがあるから	0
一般就労してみたいから	0
作業所などで働いてみたいから	0
特に理由はない	0
施設での生活に不満があるから	0
その他	0
無回答	0

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

げんざいにゆうしょ ^{しせつ} ^{せいかつ} ^{おも} ^{かた}
 [現在入所している施設で生活したいと思われている方におききます]

問24 今の施設での生活を続けたい理由はなんですか。(〇はいくつでも)

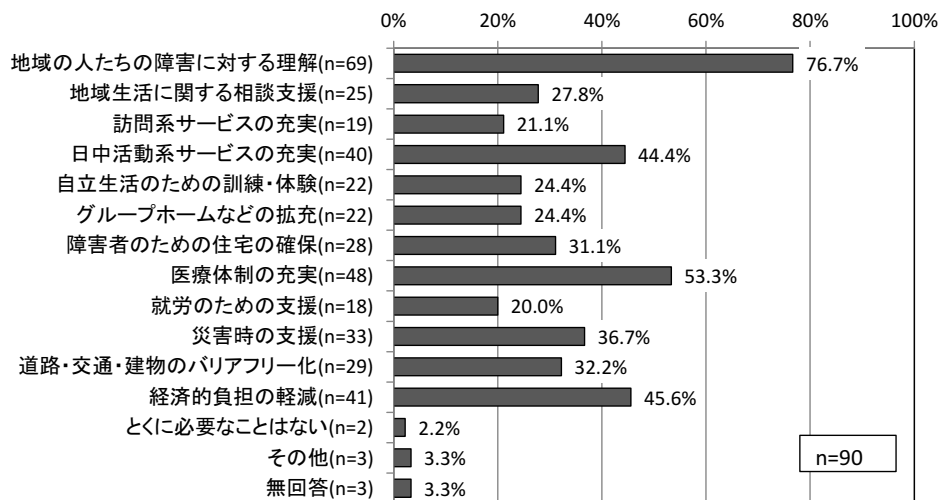
施設の居住継続理由については、「施設にいたほうが安心できるから」が84.3%と最も高く、次いで、「家族の受け入れ態勢が整っていないから」が40.0%、「施設での生活が自分にあっているから」が35.7%となっています。



ここからはぜんいんにおききます]

問25 障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

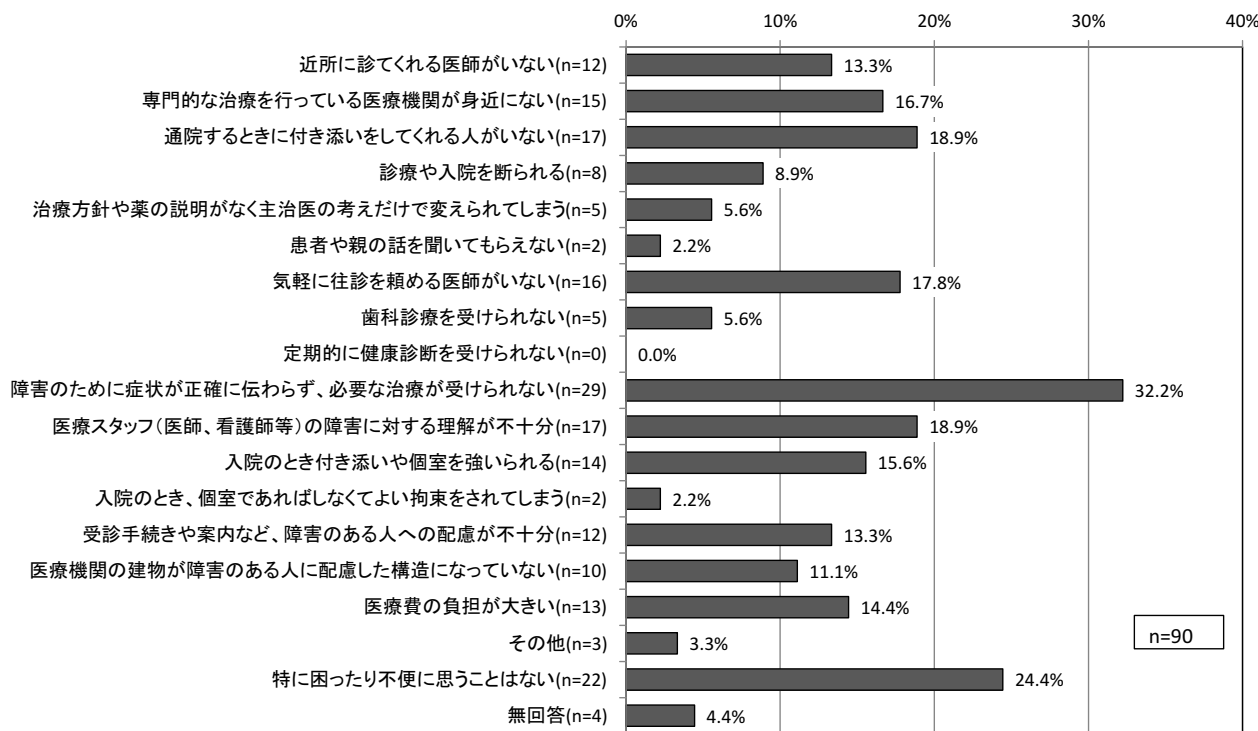
地域における障害者受け入れの課題については、「地域の人たちの障害に対する理解」が76.7%と最も高く、次いで、「医療体制の充実」が53.3%、「経済的負担の軽減」が45.6%となっています。



《 健康状態や医療について 》

問26 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

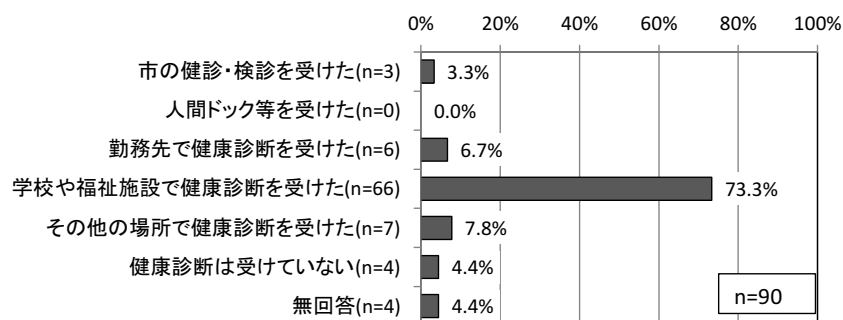
健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が32.2%と最も高く、次いで「通院するときに付き添いをしてくれる人がいない」「医療スタッフ(医師、看護師等)の障害に対する理解が不十分」とも18.9%となっています。また、「特に困ったり不便におもうことはない」が24.4%となっています。



問27 過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(〇は1つ)

過去1年間の健康診断(健康診査)の受診については、「学校や福祉施設で健康診断を受けた」が73.3%と最も高くなっています。

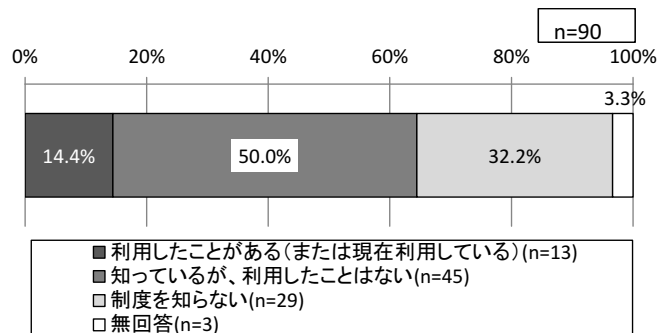
また、「健康診断は受けていない」は4.4%となっています。



《 成 年 後 見 制 度 に つ い て 》

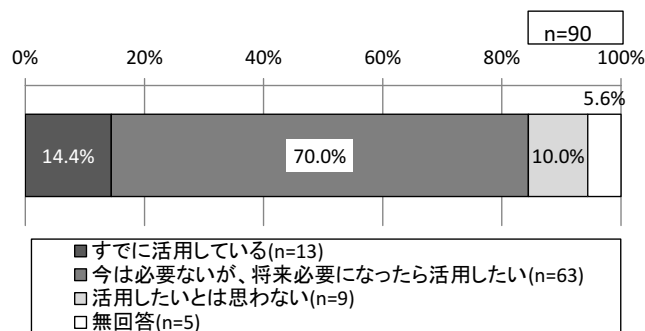
問28 「成年後見制度」とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。
(○は1つ)

成年後見制度については、「知っているが、利用したことはない」が50.0%と最も高くなっており、「制度を知らない」が32.2%、「利用したことがある(または現在利用している)」は14.4%となっています



問29 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。(○は1つ)

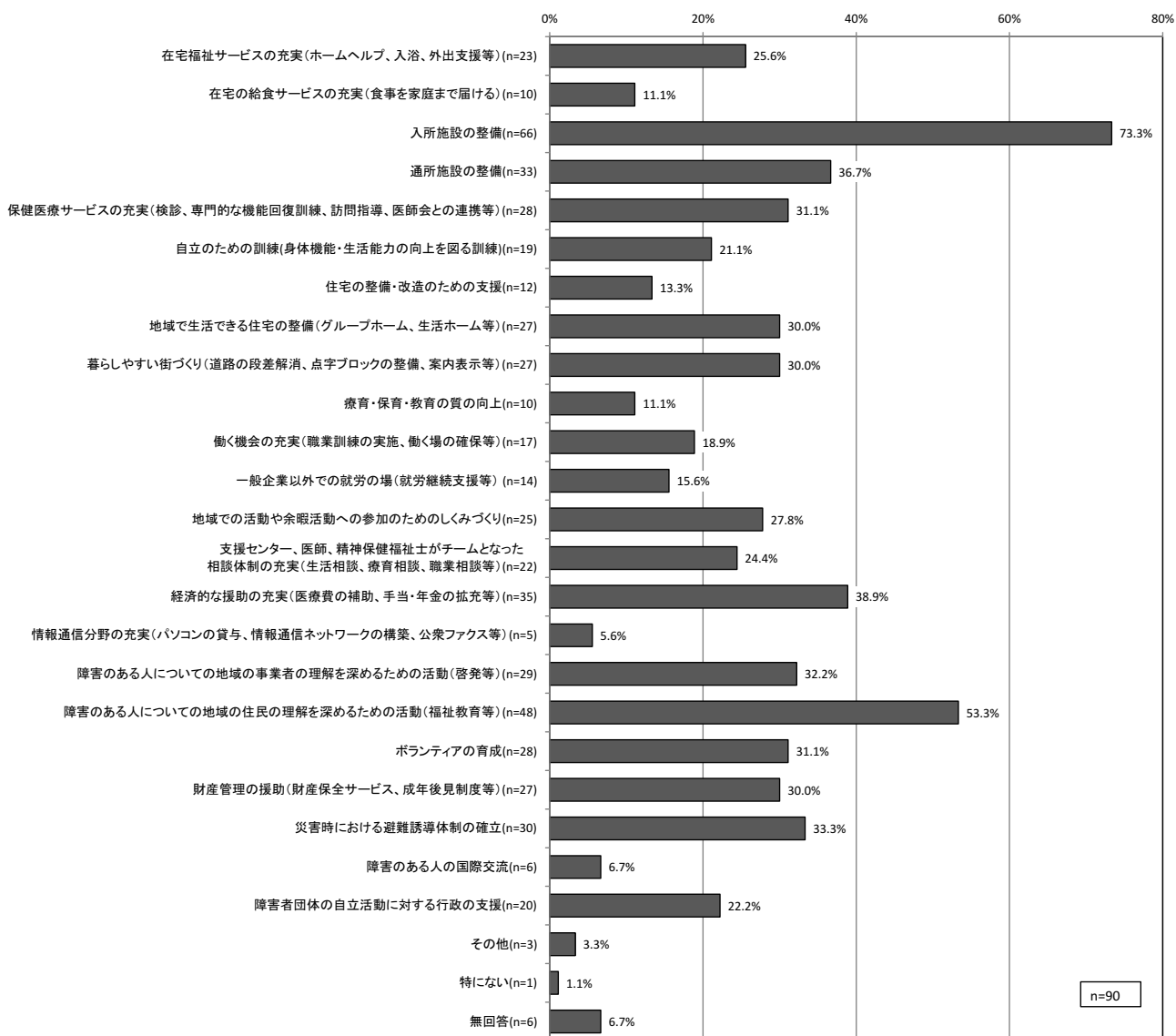
成年後見制度を活用したいかについては、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」が70.0%と最も高くなっており、次いで「すでに活用している」が14.4%、「活用したいとは思わない」が10.0%となっています



《 市の取り組み等について 》

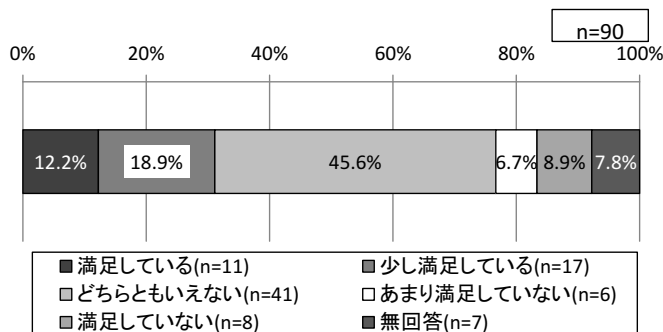
問30 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

市が充実させていくべきことについては、「入所施設の整備」が73.3%と最も高く、次いで「障害のある人についての地域の住民の理解を深めるための活動（福祉教育等）」が53.3%、「経済的な援助の充実（医療費の補助、手当・年金の拡充等）」が38.9%となっています。



問31 川越市の福祉サービス全般について、満足していますか。(〇は1つ)

川越市の福祉サービス全般については、「満足している(満足している+少し満足している)」が31.1%となっています。また、「満足していない(あまり満足していない+満足していない)」は15.6%となっています。



最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- 今年4月に障害を理由とする差別の解消法が施行されましたが、現実はいろいろの面で悲しい出来事があり地域の中で自治会やいろいろの場所でPRか啓発をお願いしたい。知的障害の特性に応じて対応の(支援の)仕方やあり方等について人材の育成等について横のつながりを考えて下さい。(年代不明)

【雇用・就労について】

- 働く機会が増え円滑にお金が回る社会になってほしいと願う。(40代)

【社会参加について】

- 移動支援が入所でも使えるといいと思います。月に1～2回少なくとも機会を作ってほしいです。(20代)
- 施設～自宅間の送迎(現在はそのサービスはないのでしょうか)。有償でもまたは割引制度あれば尚、利用して(なるだけ帰宅の回数は減少するでしょうが)家に居る時を過ごさせてやりたい親の気持ちです。(本人の気持ちから母の気持ちを述べさせていただきました)(40代)
- 知的障害者(行動障害あり)にとって、一般の住宅での生活は困難をとまいません。入所施設は必要です。入所施設は障害者にとって、収容施設ではありません。入所施設が生まれ育った地域にあることが重度障害者にとって、地域生活となります。そして自宅にいたときと同じように余暇や外出も充実したいです。(30代)
- ぜひ移動支援を使えるようにして下さい。(30代)
- 入所施設で生活する障害者の外出するためのサービスをつくってほしい。サービスが入所施設だけ、サポート(泊を伴う)のみというのは、差別だと思う。外出するチャンス、移動する手段を確保してほしい。(30代)
- 入所施設では移動支援も使えなくて、通院で親が呼ばれることもあります。親の方も体が動かなくなってきていてもう限界です。入所施設で移動支援を使えるようにして下さい。(40代)

【住みよいまちづくりについて】

- 一般の家屋から樹が伸び出し、ガードレールの幅を狭くしている場所もある。ガードレールのない一般道路でも歩行者用の白線まで樹の枝の幅を伸ばしているため、白線の外側を歩いている。車道の自転車用の白線も狭すぎて、乗っている人は気の毒です。地域の回覧板で伸びた枝切の注意をよく見ますがよろしく願います。(40代)

【福祉サービスの充実につて】

- 障害者関係の予算を増やしてもらいたいです。(40代)
- 障害者基礎年金で生活しておりますが医療費や交通機関等の免除はありますが、一カ月8万円の障害者基礎年金では生活できません。どうか障害者基礎年金の金額を上げてくださるようお願いいたします。一人の人が生活できる金額ではないと思います。(30代)
- 知的障害者の真の意味での自立はありえないと思います。常に誰かの援助、介助、見守りが必要です。施設入所している人も地域でなんとか暮らしている人も知的障害をもっている人であれば誰かのサポートが必要という意味で自立は出来ません。その意味で生活の基盤を保障してくれる為の施設は全員に必要なものと考えています。障害者と一くくりにせず、それぞれに一番必要と思われる方法、型を考え実行していただければと願っております。(60代)
- 親が車の運転不可能な年齢になった為、施設に行く時は3.2kmの道を歩いて行かなければならぬ。近くにはデベロッパが開発した住宅、学校、老人ホーム等あるのでシャトルバスが利用できると良い。(40代)
- 現在、入所生活をしていますが、帰宅時に外出する際に支援が受けられず困っています。介護者が高

齢化し非常に厳しいものがあります。福祉サービスの充実を是非図って欲しい。(30代)

- 入所施設が足りないのでぜひ整備して下さい。(20代)
- 障害と言っても、様々な障害があるので、身体障害の方のように、外見上わかりやすい方への理解は少しずつ広がって来ていると思う。しかし、自閉傾向の人や重度の障害を持つ人(知的)、精神の人への理解がまだまだだと思う。福祉サービスを提供する時に、ある一定の人々ばかりイメージせず、重度者でも楽しめるのか、利用出来るのかを考えて、オアシスや公民館の講座をひらいて欲しいと思う。(30代)
- 電車やバスに乗って出かけようとする一人では難しいので、誰か一緒に行ってくれたらと思うのですが、入所施設では職員が少なくマンツーマンでの外出は難しいと言われてしまいましたし、ヘルパー(移動支援)は利用できないと言われて困っています。入所施設の職員を増やすか、ヘルパーを利用できるようにしてください。(30代)
- 心穏やかに毎日の仕事、暮らしを送っていくために、職員さんと話して楽しい時間を過ごすことが大切になりますが、福祉作業所、入所施設の職員さんが少ないため、なかなかゆっくり話をする機会が持たずに、気持ちの疲れがたまっていくことが多く、困っています。職員さんの数を増やしてほしいです。(30代)
- 情緒的に不安定になるときは、職員さんが寄り添って相談にのってくれています。しかし、入所の職員数はとても少なく、他の支援のために娘まで配慮が行き届かないこともしばしばです。入所施設は夜間も職員が少なく娘が暮らす場として不安を感じることもあります。入所施設の職員が増えるよう市として補助金を出すなどして対策を練ってください。(40代)
- 入所施設の人員不足は今に始まったことではないが、どうにかしてほしい。仲間と一緒にいる時間がどうしても限られてくるので、土、日一緒に外出したくてもできない状態にある。ボランティアの育成なども含め、充実させていってほしい。障害者の自立活動に対する行政の支援もお願いしたい(40代)
- 両親が高齢になり、母親が現在病気療養中で自宅に帰宅する事が難しくなっています。親なき後も、施設で充実した生活がおくれますように望んでいます。(40代)
- 国の方針の共生する社会においては地域において拠点となるような施設を考えて下さい。医療等と連携するような施設が必要では。(年代不明)

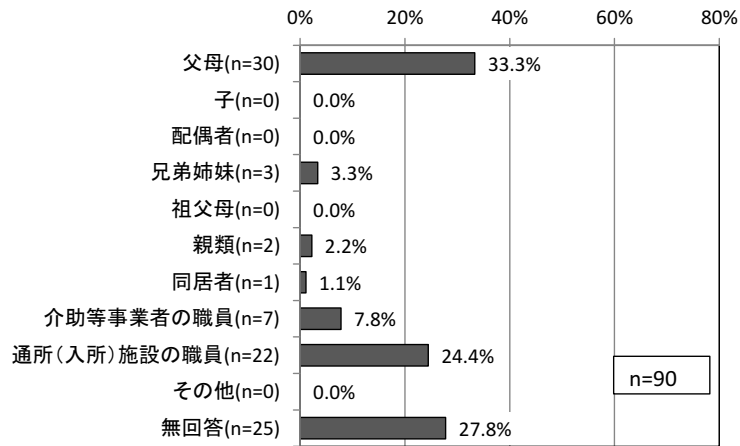
【その他】

- 家族等の援助が期待できなくなっても障害者本人が幸せな暮らしを続けられるよう願っています。(30代)
- 親の心の中ではいつも親なき後、どうなっていくのかといつも心配しています。いまは元気なので心配ないのですが、この子から笑顔が消えないようにいつまでも元気に過ごしてくれたらいいなと思っています。(30代)
- 支援するのが親で当然と考えられている事にとっても苦しい思いをしています。心中でさえも選択に入ってしまうような状況を行政の方々にわかって頂きたいと思います。出来れば自分でとは重々考えますが、動かない体はどうしようもなく、助けが必要な状況です。(40代)
- 福祉課の職員さん1人~2人でもいいので、1度施設や作業所を見に来て下さい。2~3日でもいいです。施設にとまり仲間や職員さんと一緒に食事をし、風呂に入り寝てみて下さい。実際の生活を目で見て仲間と施設の生活について話してみてください。アンケートを見るより感じるところがたくさんあると思います。親なき後安心してまかせる施設をもっともっと作って下さい。仲間が作業している姿を見て下さい。親が活動している姿を見て下さい。たくさんのお話を聞くより早いと思います。(30代)

ご家族や援助（介護や手助け）をされている方へ

あなたの立場（調査対象のご本人との関係）は次のうちどれですか。（○は1つ）

調査票対象者との関係については、「父母」が33.3%と最も高く、次いで「通所（入所）施設の職員」が24.4%となっています。



毎日の援助の中で気づいた問題点や、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- 障害のある人に対する理解が深まるような社会にして欲しいので、啓発活動など障害について知っていく活動を広げて欲しいです。（通所（入所）施設の職員）
- 地域住民の障害者に対する理解が乏しい。障害者を受け入れてくれる会社にも知識として学んで欲しい。また本人を取り巻く環境等にも同様。（介助等事業者の職員）

【保健・医療サービスについて】

- 遠い病院に通院しています。親がつれていってます。親が年をとると通院も大変です。病院を変わりたい時変わりやすいように円滑に事が進むように橋渡しして下さい。（父母）
- 障害以外の病気が発生しても大丈夫のために施設に看護師を24時間勤務出来るようにしてほしいと思います。川越市で出来る、川越市だけの制度を作して下さい。（父母）
- てんかん発作を持つ息子です。薬の調整で新薬Eケプラに切りかえましたが、大変な手間、ひまをかけるなければなりません。家族の仕事の一つでも減らして下さい。窓口負担はなくして下さい。還付はしますが、また申請書をかいて市へ提出という作業をとまいます。障害を持った子をかかえる家族への負担が多すぎます。（父母）

【社会参加について】

- 入所している場合でも移動支援を受けさせて下さい。障害を持っている人が街中を歩かないと健康な人達とふれあっていないと生活の上でアンバランスな状態になっていきます。共に支え合っているという精神的な文化は大切にしたいです。（父母）
- 雨の日でも障害者が身体を動かせる体育館や共有スペースがあったらいいなと思います。（介助等事業者の職員）
- 週末の外出や余暇の取り組みで移動支援などを使い余暇の幅を広げたい。（通所（入所）施設の職員）

【福祉サービスの充実について】

- 高齢者の親にとって、市に提出する申請書など非常に負担に感じるようになって参りました。周りの親たちも申しております。今後とも障害者福祉の充実を切にお願いします。（不明）

- 親が高齢の為週一回の帰宅も困難になりつつあり将来的に不安がいっぱいです。特に医療を受ける事が困難な為援助が必要とつねに思い続けています。(父母)
 - 施設に入所して大変ありがたく思っていますが、親も高齢で将来身元引受人や役所との諸手続などあてもなくどうしたら良いのか心配でなりません。(父母)
 - 家族亡き後、安心して子供をたくせる場を、入所とは限らないので、グループホーム等でも地域で受けとめてもらえる所をいろいろな福祉サービスの組み合わせで可能にして頂きたいと思います。(父母)
 - 現在の入所施設では職員及び指導員の不足が目立ち、利用者の介護や手助けが行き届いていない事から運動不足やけがや衛生的な面に目が届いていない。(父母)
 - 利用者さんの通所介助で職員が不足しており、思うように行けない時もある。土、日等の休みに思うように利用者さんの外出が出来ていない。(通所(入所)施設の職員)
 - 入所施設利用で週末は家に帰って来ています。本人の状態悪くパニックになった時など大きな声を出すとご近所にご迷惑をかけてしまいます。グループホームも難しいと思います。重度障害者の「家」として、入所施設を考えてほしいです。(父母)
 - 親が高齢になるにつれ気力、体力がおとろえ同年代の親との話はいつも親なき後のこと安心して老いていけるよう、また障害者が住みやすい医療を受けやすい川越になって欲しいです。市役所での窓口での対応、いつも親切にして頂いています。ありがとうございます。(父母)
 - 利用者への支援を行う上で、公的なサービスの制限が多くあり、結果使えない事があります。事業所の職員が何とか対応をしていますが、これでは人により可否がわかれてしまい継続した支援につなげられません。必要性をぜひ理解して頂き、利用者にとって使いやすく使いがいのあるサービスの充実を強く希望します。(通所(入所)施設の職員)
 - 絶対的に人手が足りなく、利用者1人ひとりとゆっくり話をする時間がなかなか持てずにいることが現状です。担当している利用者が障害ゆえに気持ちぎりぎりいっぱい頑張っている姿に「もう少し人が居れば隣で寄り添えるのに…」と歯がゆい思いをすることもあります。障害のある人とともに働きまた暮らし、という施設に対して自分も働きたいと思えるような社会にしていって欲しいです。(介助等事業者の職員)
 - 施設に入所して親としても高齢なので安心していられるが一人ひとりの個性として考えて支援をして欲しい。地域にいて、小さな(父母)
 - 現在の通所へは25年、入所へは8年ですが、楽しく通っています。施設も大きくなった分、職員さんも大変でしょう。娘は職員さんとの会話が何よりも楽しみです。(給食も)人手が減らないようにお願いします。(父母)
 - 社会福祉協議会に自助具の展示を置いて下さい。息子が手が不自由なため特殊なスプーンを使用していましたが、製造元がつぶれてしまいました。コップも同じく1ダース位ストックしていたのもあと2ケ位しか残っておらず、あちこち探していますが、形と固さがかなうのがなく困っています。相談窓口を置くか展示、修理等を考えるか何か方策を練っていただけませんか。(父母)
- 【その他】
- 毎週末、帰宅していますが、親も高齢になり、いつまで続けられるか不安です。家に帰れなくなった時ストレスがたまって病気になる引き金になるのが恐いです。(父母)